



IN FOR TA



百鳥 みなさんこんばんは。今日は多賀さんの素顔を引き出してみたいと思います。さて、ポスターを拝見しましたが、とてもラフな感じなのですこし驚きました。

多賀 ちょっと照れています。普段は「歩く公務員」といった整いイメージで見られていますので、このポスターで素顔が伝わるかな、と思っております。

百鳥 現在47才、1950年昭和25年生まれということで、ご出身はどちらですか。

多賀 鳥取県です。生まれてすぐに、父の仕事の関係で大阪に行き19才までありまして、その後、京都大学に入りました。

百鳥 宮津にいられた契機は何でしょうか。

多賀 大阪の小学校の頃、臨海学校で宮津に来てましたし、日本三景のひとつで、とても風光明媚なところでしたので印章に残っていました。たまたま京都TVの宮津市政だよりを見て募集を知り、受験しました。

百鳥 他にも就職が決まってらしたのですか。

多賀 当初は一般企業に就職する予定でしたが、3月に宮津市から採用通知が届き、たいへん悩みました。

多賀 でも、父の老後の生活、父は海軍でしたから、舞鶴を身近に感じていましたし、釣りも大好きでしたから、結果的に宮津市に決めました。

百鳥 仕事で宮津を選ばれたわけですが、小学校の臨海学校からの何かしら縁を感じますね。そして今こうして、政治の世界に入ろうということになったのは、なぜですか。

多賀 もちろん「君を出したい」という強い要望があったからですが、23年前に私をあたたかく迎え入れてくれて、まがりなりにも地域のリーダーとして立ち立てできるまでに育ててくれたこの地域に、なんとか恩を返さなくてはと感じていたこと。仕事の関係がそうでありましたから当然ながら地域振興への熱い思いにつき動かされたこと、というのが理由です。

また、まちというのは、いいところも悪いところもあるわけですが、「住めば都」という感性のなかで、なんとか良くしていきたい、そのござわりだと思います。

